

### レジオネラ症

千葉県では2009年24例、2010年30例、2011年35例、2012年32例、2013年59例、2014年59例の届出があった(表1、図1)。2014年は2013年に引き続き届出数が多かった。そこで、2014年59例の届出状況をまとめた。

表1. 2009年～2014年千葉県のレジオネラ症年別・診断月別届出数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2009年	1	2	2	3	2	2	3	2	1	2	2	2	24
2010年	1	0	2	1	2	0	9	4	1	4	3	3	30
2011年	2	1	2	1	2	2	3	0	10	4	6	2	35
2012年	0	1	2	1	3	4	3	1	5	5	6	1	32
2013年	3	1	4	4	3	3	14	7	4	6	5	5	59
2014年	7	4	6	1	3	7	6	6	4	7	4	4	59
合計	14	9	18	11	15	18	38	20	25	28	26	17	239

図1. 2009年～2014年千葉県のレジオネラ症年別届出数

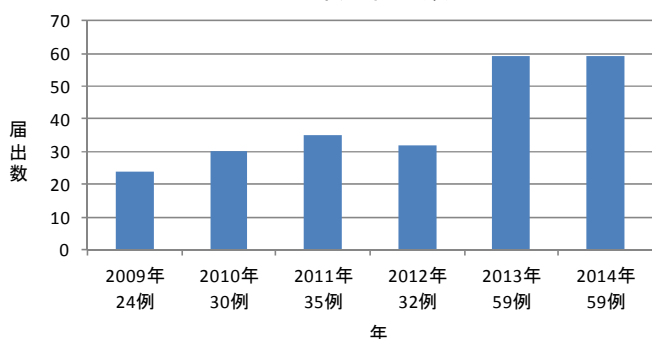
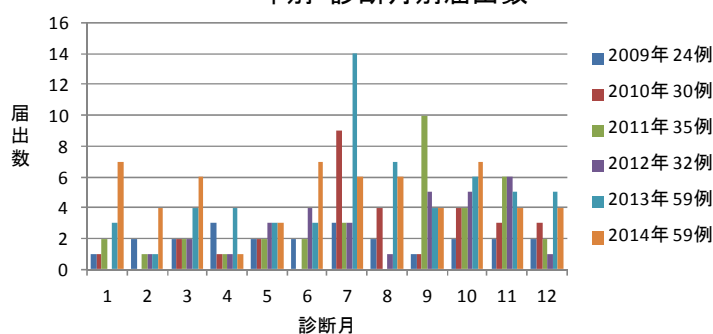


図2. 2009年～2014年千葉県のレジオネラ症年別・診断月別届出数



診断月別では2014年は過去5年と比較して1月～3月にかけて届出数が多かった(表1、図2)。保健所別では松戸11例、市川9例、習志野9例、船橋市8例、印旛5例、安房4例、千葉市3例、君津3例、柏市2例、山武2例、市原2例、海匝1例だった(図3、表2)。

図3. 2009年～2014年千葉県のレジオネラ症年別・保健所別届出数

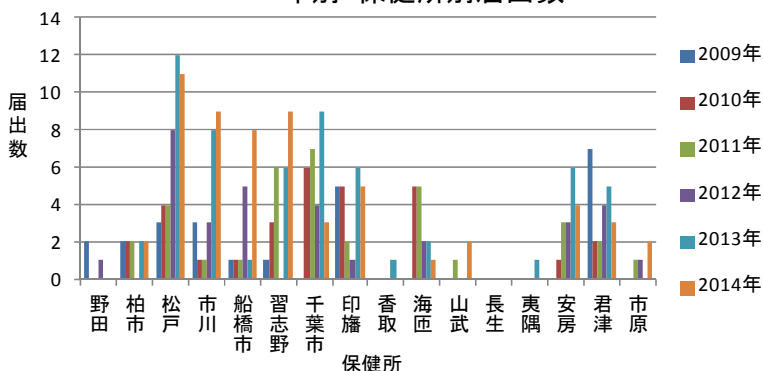


表2. 2009年～2014年千葉県のレジオネラ症年別・保健所別届出数

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	合計
野田	2	0	0	1	0	0	3
柏市	2	2	2	0	2	2	10
松戸	3	4	4	8	12	11	42
市川	3	1	1	3	8	9	25
船橋市	1	1	1	5	1	8	17
習志野	1	3	6	0	6	9	25
千葉市	0	6	7	4	9	3	29
印旛	5	5	2	1	6	5	24
香取	0	0	0	0	1	0	1
海匝	0	5	5	2	2	1	15
山武	0	0	1	0	0	2	3
長生	0	0	0	0	0	0	0
夷隅	0	0	0	0	1	0	1
安房	0	1	3	3	6	4	17
君津	7	2	2	4	5	3	23
市原	0	0	1	1	0	2	4
合計	24	30	35	32	59	59	239

類型別は患者58例、無症状病原体保有者1例だった。

病型別は肺炎型54例、ポンティアック熱型4例、無症状病原体保有者1例だった。

性別では男性46例、女性13例と男性が多かった。

年齢では男性は中央値68.5歳(最小値43歳、最大値86歳)、女性は中央値78歳(最小値63歳、最大値94歳)と高齢者に多く、女性の方が高齢者で多かった(図4、図5、図6、表3)。

図4. 2014年千葉県のレジオネラ症  
性別・年齢群別届出数

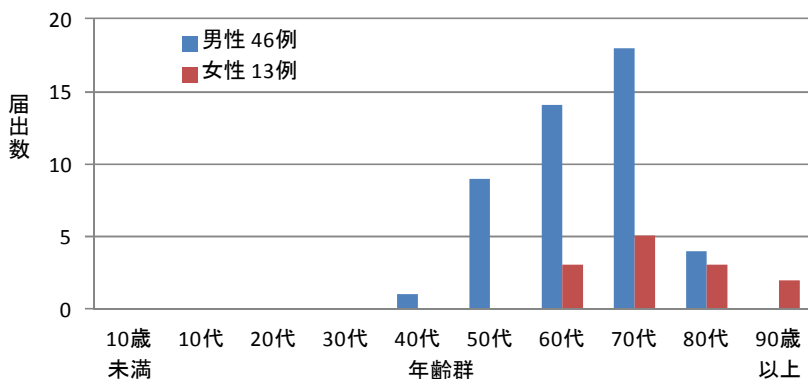


表3. 2009年～2014年千葉県のレジオネラ症年別・性別・年齢群別届出数

	2009年			2010年			2011年			2012年			2013年			2014年			2009年～2014年総計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
20代	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
30代	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	3	3
40代	0	0	0	5	0	5	4	0	4	5	0	5	4	0	4	1	0	1	19	0	19
50代	3	0	3	4	2	6	9	1	10	6	0	6	11	0	11	9	0	9	42	3	45
60代	6	1	7	7	2	9	3	1	4	9	0	9	17	4	21	14	3	17	56	11	67
70代	2	1	3	6	0	6	9	1	10	6	3	9	14	2	16	18	5	23	55	12	67
80代	6	2	8	3	1	4	2	4	6	2	1	3	4	1	5	4	3	7	21	12	33
90代	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	2	1	3	4	4
<b>総計</b>	<b>19</b>	<b>5</b>	<b>24</b>	<b>25</b>	<b>5</b>	<b>30</b>	<b>27</b>	<b>8</b>	<b>35</b>	<b>28</b>	<b>4</b>	<b>32</b>	<b>52</b>	<b>7</b>	<b>59</b>	<b>46</b>	<b>13</b>	<b>59</b>	<b>197</b>	<b>42</b>	<b>239</b>

図5. 2009年～2014年千葉県のレジオネラ症  
男性の年別・年齢群別届出割合

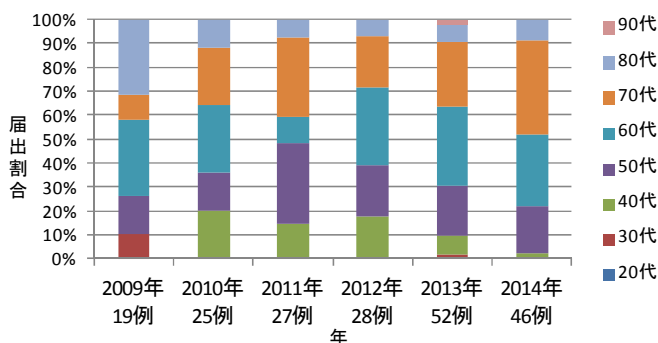
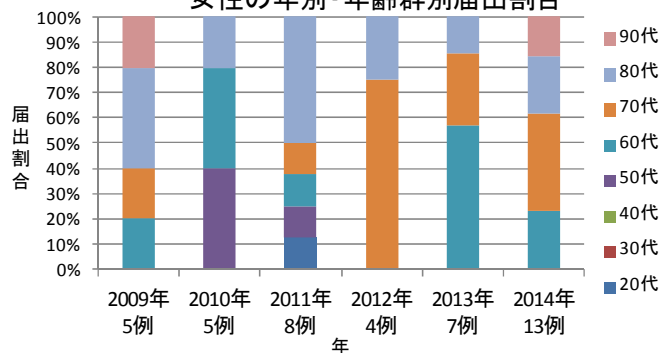


図6. 2009年～2014年千葉県のレジオネラ症  
女性の年別・年齢群別届出割合



症状等として記載があったのは肺炎 50 例 (84.7%)、発熱 49 例 (83.1%)、咳嗽 30 例 (50.8%)、呼吸困難 25 例 (42.4%)、意識障害 13 例 (22.0%)、下痢 5 例 (8.5%)、腹痛 4 例 (6.8%)、多臓器不全 3 例 (5.1%)、その他 8 例 (13.6%) だった (複数報告あり)。

診断方法等は尿中の病原体抗原の検出 53 例、検体から直接の PCR 法による病原体遺伝子の検出 5 例、分離・同定による病原体の検出 1 例、間接蛍光抗体法による血清抗体の検出 1 例だった (複数報告あり) (表 4)。

表4. 2009年～2014年千葉県のレジオネラ症年別・診断方法別届出数

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	計
分離・同定による病原体の検出	1	1	3	1	1	1	8
蛍光抗体法による病原体抗原の検出	0	0	0	0	0	0	0
尿中の病原体抗原の検出	24	28	35	30	55	53	225
検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出	0	1	0	0	3	5	9
間接蛍光抗体法による血清抗体の検出	0	0	0	1	1	1	3
マイクロプレート凝集法による血清抗体の検出	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	0	1